

不適合情報

2023年4月12日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	非常用ディーゼル発電機(A)点検後の40%負荷試運転時、当該エリア火災報知器のブアラームが発報したことを確認した。運転にともなう温度上昇により、点検作業で交換した保温材から一時的に異臭やもやが発生したものと推定。刺激臭が強く、火災報知器の指示値も低下しないことから、発電機の運転を停止。周辺エリアの立入規制を行うとともに、局所排風機の設置、サーキュレーターによる室内空気の循環、換気などの対策を行い試運転を再開し、100%負荷試運転を完了済み。	2023/04/06	
2	4号機	タービン建屋地下3階(管理区域)所内用空気圧縮系空気圧縮機(B)の南壁に、地下水の染み出し跡を確認した。現時点で水の染み出しはなく、染み出しが発生した場合には床排水溝へ流入し、非放射性スチームドレン移送系で処理されることを確認済み。当該箇所を修理。	2023/04/10	
3	6号機	非放射性スチームドレン移送系収集タンク防液堤ピット排出ポンプ吐出逆止弁点検において、弁体部のナットに腐食を確認した。当該弁を交換。なお、配管上流側に逆止弁があり、機能が維持されていることおよび排水ポンプに影響のないことを確認済み。	2023/04/03	